

2024 年 8 月 9 日

日揮ホールディングス株式会社

2024 年度第 1 四半期決算に係るテレフォンカンファレンスにおける質疑応答（2024 年 8 月 8 日開催）

※テレフォンカンファレンス開催日（2024 年 8 月 8 日）時点の情報に基づく内容です。

1. 2024 年度第 1 四半期の業績・受注の見通しについて

質問	回答
第 1 四半期の業績について、遂行中プロジェクトの追加費用引当てや予備費の戻り（利益改善）など、変動要因は発生しなかったと理解してよいか。	第 1 四半期ということもあり、本年 5 月に発表した期初予想から大きく変動したものはなかった。
大きな変動要因はなかったものの、一方で通期業績見通しに対して第 1 四半期は順調な進捗率だった状況を鑑みると、第 1 四半期の業績にインパクトを与えていたのは為替だと思うが、為替（円安）による影響はどの程度あったのか。	通期業績予想に使用している想定レートは 1 ドル=145 円であったところ、第 1 四半期末（6 月末）は 1 ドル=約 161 円であったため、為替による業績へのプラス影響があった。 具体的には、通期業績見通しにおける粗利益率 7.0%の予想に対し、第 1 四半期の実績は 7.6%だった。この上振れ分 0.6%は金額にすると約 12 億円となる。このうち約 8 億円程度が、為替影響により想定よりも上振れた部分となる。残り約 4 億円は、機能材製造事業の第 1 四半期売上高が、同事業の通期予想に対して進捗率が高かったことで、セグメント間の売上高構成において利益率の高い機能材製造事業の割合が増えたことで上振れとなった。
2023 年度に工事損失引当金を計上した案件の影響を除くと、前年同期と比べても粗利益率が高かったのではないかと	工事損失引当金を計上していない案件の粗利益率が特段高いということはない。押しなべて見ると、前年同期と比較しても大きな変化はない。一方

推測する。工事損失引当金を計上していない案件の粗利益率は比較的高かったのか。	で、第1四半期に受注した案件を含む2024年度以降に受注する新規案件については、社員の処遇改善による人件費などの増加分を加味した見積もりがベースとなって契約されるため、これらの案件が今後の粗利益率回復に貢献してくるものと期待している。
受注の状況について、第1四半期に受注したアラブ首長国連邦（UAE）のLNG案件の受注金額について教えてほしい。 またその他、2024年度に受注を期待している案件の進捗状況について教えてほしい。	本案件の受注金額は非開示であるが、第1四半期に計上したのは本契約が中心となっている。現在オプション事項の契約について顧客と協議中であり、これが纏まれば上乗せが期待できる。 またその他、2024年度に受注を期待している海外案件は、顧客との商談が着々と進んでいる。受注タイミングについては明確に述べられないが、下期を目途に順次受注できることを期待している。国内においては、第1四半期は、メンテナンス工事や製油所改造案件などを中心に受注した。今後についても、数十億円規模の医薬品工場や病院、食品工場などの受注を積み上げ、受注目標の達成を目指す。

2. 遂行中案件の状況について

2023年度に工事損失引当金を計上した案件について、現在の進捗状況を教えてほしい。	各案件とも損益上の大きな変化はない。各案件の状況は次の通り。 <インドネシア・天然ガス処理プラント及びガスパイプライン新設案件> 建設工事がほぼ終了した。試運転も終盤となっており、今年中の完工を予定している。 <インドネシア・LNG受入基地新設案件> 設計業務がほぼ終了。調達業務は主要機器の発注を完了。建設工事が最盛期を迎えている。
--	---

	<サウジアラビア・NGL プラント増強案件> 設計業務は概ね終了。建設現場では機器の据え付けや配管工事を進めている。 <タイ・化学プラント新設案件> 設計業務が終盤で、調達業務の発注作業もほぼ完了。建設業務はサブコントラクターとの契約がすべて完了。建設現場では杭打ち工事は完了し、鉄骨、配管工事が進み、機器の据え付けも始まっている。 <サウジアラビア・原油ガス分離設備新設案件> 設計業務はほぼ完了し、顧客からのコメントに対応中。調達業務は機器の搬入が始まっており、機器の船積みがこれから年末にかけてピークになっていく見通し。建設工事は土木工事や鉄骨工事に加え、機器の据え付け開始に向けた舗装工事が進んでいる。
2023 年度に工事損失引当金を計上した案件以外の案件で、今後追加費用が発生するリスクはあるか。特に受注残高が大きいイラク案件や北米案件の状況はどうか。	現時点で特別大きな問題は出ていないが、我々も各案件の動向を注視しつつ細心の注意を払いながら遂行中である。イラク・製油所近代化案件は順調に進捗しており、現時点では追加費用が発生するリスクは聞こえていない。カナダ・LNG 案件は完工に向けて現場工事が最終盤を迎えている。米国・エチレン増設案件はまだ先が長いが今のところ採算に大きな変動はない。

以 上